

天ヶ瀬交流会「もくもく広場」の活動報告

(公社)大分県建築士会日田支部

広報部長 秋 和夫

令和2年11月28日

11月28日午後1時より、天ヶ瀬復興応援企画第二弾として、旧あまがせ保育園で天ヶ瀬交流会があり、建築士会日田支部は「もくもく広場」のブースで棚作りをしました。今回は士会員9名の参加で、新型コロナウイルスの感染拡大対策として、入場時の体温測定とマスクの着用を徹底し、体温測定をしたかどうかを確認できるようにピンクリボンを着けて作業準備にかかりました。



昼前で、腹が減っては作業ができぬ・・・のため、先ず、棚作りに備えてみんなで腹ごしらえです。この時は、マスクを外して暫しの沈黙タイムですが・・・大丈夫なのか?? _(^_^)_



セッティングが完了。
これから、準備にかかります。

取り急ぎ、標準サイズの棚サンプルを作成し、幅や高さのリクエストを受ける形でスタート。決まった規格寸法の木材を幾つか用意したうえで上手く組み合わせ、仮住まいでも使えるようオーダーを受けて製作をしました。



事前に3組の申込みがあったのですが、意外にも需要が多く13組の下足入れや棚をつくりました。

若い親子連れも来て、お父さんとお母さんがお子さんの応援を受けながら、ビス打ちしている姿は微笑ましいものでした。



反省点としては、割と大きな棚を頼まれて組み立てた後にとても重くなって車に積み込むのが大変でした。



同時に、建築相談も受けられるよう席を設けておきました。相談にみえた方は、2回も大きな被災をしてとても怖い思いをたそうので、水害に逢わないように家を嵩上したいとの事でした。



《 報告後記 》

今回は、天ヶ瀬復興企画の一環で、被災した方々への支援目的で棚作りを行いました。棚作りに見えた人達は、小さい子どもを連れた若い夫婦が多く、「僕もやるー。」とか「良かったねー。」という可愛い元気な会話で、微笑ましいひと時でこちらの方が勇気を貰った気がしました。

公益法人である建築士会は、これから先も地域の復興にどういった形で付与できるのかという事を考えて活動していきたいと思えます。

棚作りの状況